



「歩く県道・銀山街道」

地域づくりニュース H26 Vol.3

銀山街道を活用して地域を元気にする会や東北芸術工科大学の学生・教員のみなさんに参加をしていただき、第3回「歩く県道」（銀山街道）地域づくり検討会を開催しました。

銀山街道を活用した取り組みを、次年度以降さらに広域的で発展した活動とするために、今後の街道整備計画や、地域住民に対する「歩く県道」の取り組みの周知の必要性等について、活発な意見交換が行われました。

第3回地域づくり検討会の開催概要

平成27年3月6日(金)10時～12時30分 福島県会津若松合同庁舎新館2階会議室にて開催

●参加者●

銀山街道を活用して地域を元気にする会、NPOわくわく奥会津ドットコム、東北芸術工科大学の学生・教員、会津森林管理署、金山町役場、昭和村役場、会津若松建設事務所等 合計27名

●話し合われたこと●

- 次年度以降、整備が必要な箇所や施工方法等について検討を行いました。
- 「歩く県道」を活用した次年度の活動計画等について説明を受けました。
- 「新日本歩く道紀行100選シリーズ」への応募に向けて、道の概要等の記載内容について話し合いました。



今後の街道整備計画について

銀山峠

- 銀山峠については、対策が必要な箇所についての整備は一通り終わった。但し、雪解け後の現地調査において対策が必要と判断された場合は、整備を行う。

美女峠

- 美女峠は、餅ヶ沢の橋を渡って昭和村に入った付近のぬかるみがひどい箇所に、土側溝と横断側溝を整備し水はけを良くすることで、歩きやすくしたい。
- 11号工区の路面が掘れている箇所は、地盤が固く砂利を敷いても流出してしまう。丸太を打設し、土のう袋を充填してフラットな面を何段か作ることで、表流水が斜流するのを抑えるのも施工方法の1つ。

餅ヶ沢の橋を越えた付近でぬかるみがひどい箇所



吉尾峠

- 吉尾峠は、木橋が折れたり現道が欠損しているなど対策の必要な箇所が多くあるが、資材の運搬等を考慮して、昭和側の入り口近くから順番に補修作業をしていく。
- 布沢側にもぬかるみがひどく、早急な対策が必要な箇所がある。昨年の10月に有志で土側溝を掘るなどの対策を施した。ぬかるみの改善状況を確認したい。
- ◆ 雪解け後に現地調査を行い、状況を確認した上で施工箇所や施工方法について検討を行うこととなりました。
- ◆ 今後、道普請等の街道整備を初めとする「歩く県道」を活用した取り組みを進めていくにあたり、街道沿線集落の人達への周知活動や、維持・補修についてのしくみ作りも必要との意見もありました。

吉尾峠の丸木橋損傷箇所



歩く県道を活用する次年度の地域づくり活動について

今年度は、銀山街道を活用した取り組みにおいて、新組織として「銀山街道を活用して地域を元気にする会」が発足し、総延長 72 km、2泊3日のロングトレイルが開催されるなど、地域の人達が中心となって、町村の枠組みを超えた活動が行われました。

次年度も、今までの取り組みを継続すると共に、新たな展開に結びつく活発な活動としていくために、「銀山街道を活用して地域を元気にする会」事務局の五十嵐政人氏より、次年度の活動方針や具体的な活動内容についてお話しをいただきました。

- 銀山街道をパーマネントコース（恒常的に歩ける道）にし、地域における経済的効果を高めることで、地域の活性化に繋がりたい。県や町村、民間団体、NPO法人等で役割分担をし、協力して取り組みを進めていきたい。
- 道普請ツーリズムやロングトレイルを継続して実施するとともに、新たにガイドの登録制度やマイカー回送サービス等を行うことで、受け入れ体制を整えたい。
- 整備と活用を同時に進めることでリピーターを増やしていきたい。

ウォーキング大会の様子



イベント時以外にも、多くの人に歩いていただける道にしたい。

「新日本歩く道紀行 100 選シリーズ」への応募について

「新日本歩く道紀行 100 選シリーズ」選考事業の主な目的は、地域の誇るべき道を選び、道を地域資源として活用することで、地域の経済活力を創出することです。

募集要項や選考基準を確認後、応募方法等について話合いました。

- トイレや休憩所が不備な点など評価項目を満たしていない部分もあるが、地域が連携して道普請を行ってきたということは大切なこと。銀山街道を多くの人に知ってもらうため、応募する。
- 「歩く県道（銀山街道）地域づくり検討会」を応募主体として、銀山街道全線（延長 72 km）を対象にして道の概要について取りまとめることとする。

風情がある峠道（美女峠）



歩きやすいように、きれいに道が整備されています。

道普請や検討会に参加しての感想

検討会に参加していただいたみなさんに、地域づくりの活動に携わった感想や意見をお伺いしました。

- 3峠の道普請に参加することで自分の中に銀山街道が見えてきた。
- 道普請や検討会に参加することで、地域の人達の道に対する思いを感じることができた。
- 地図づくりやサイン計画等を行う上で、デザインの視点から協力していきたいと思った。
- 地区が思い描いていた美女峠の活用に一歩近づくことができた。
- 山の恵みを、街道を通して受け取っていく活動に巡り合えてうれしい。

銀山峠で行われた道普請



みんなで協力して作業を行いました。

今後も、地元の人達や、学生のみなさん、関係自治体のみなさんと力を合わせ、銀山街道を活用した地域づくりに取り組んでまいります。来年度は「マップ作り」にも取り組む予定です。ご協力をよろしくお願いいたします。

ご意見・お問い合わせは



福島県会津若松建設事務所 企画調査課

TEL 0242-29-5455

FAX 0242-29-5459